

鶏ガラスープ工場の創業支援について — 地域の復興と食鳥産業の付加価値向上 —

農林中央金庫は、株式会社十文字チキンカンパニー（岩手県二戸市、十文字保雄代表取締役社長）と丸善食品工業株式会社（東京都板橋区、竹本博則代表取締役社長）の共同出資で設立された、新会社・株式会社十文字丸善スープ（岩手県久慈市、十文字保雄代表取締役社長、竹本博則取締役副社長）に対し、工場建設資金の融資を実施いたしましたので、お知らせします。

岩手県北を中心として食鳥の飼育生産から鶏肉加工販売まで一貫した事業を行っている十文字チキンカンパニーは、1978年に岩手県久慈市に工場を設立し、その後段階的に処理能力の拡大を行ってきましたが、近年の国産鶏肉の需要増加を受けて久慈工場の増設を行い、約9万羽／日を誇る国内最大級の鶏肉加工工場として、2017年10月から増設された久慈工場が稼働しています。

久慈工場では毎日約35トンもの鶏ガラが発生しますが、十文字チキンカンパニーは、鶏ガラを高付加価値で利用することを目的に、丸善食品工業との共同出資で2018年4月に新会社・十文字丸善スープを設立、鶏ガラスープ・エキス・オイルの製造工場を久慈工場敷地内に建設します（2020年7月稼働開始予定）。

丸善食品工業は1962年からスープ製造事業を行っており、高い技術力・ノウハウ、大手食品メーカーやラーメンチェーンへの販路を持つため、これを提供することで、お互いの強みを活かして、原料製造から製品販売に至る食農バリューチェーンが構築されます。

今回の新事業は、十文字チキンカンパニーの久慈工場増設に続き、東日本大震災により大きな被害を受けた久慈市の地元雇用を拡大する取組みとして、地域からも大きな期待が寄せられています。

当金庫は、2016～2018年度を対象とする中期経営計画で、新たな事業の一つとして「食農ビジネス」を立ち上げ、農林水産業の成長産業化の推進に取り組んでまいりました。

かかるなか、今回の新事業は、十文字チキンカンパニーと丸善食品工業の取引金融機関である農林中央金庫が、両社のニーズや強みに基づく新たなバリューチェーン構築・地域食鳥産業の付加価値化への可能性を感じ、両社を引き合わせたことがきっかけとなり開始したものです。新事業は地域の震災復興にとどまらず、畜産業界全体の振興に資するものと期待し、このたび795百万円の融資をいたしました。

当金庫では、今後も震災復興の取組み、農林水産業の付加価値向上に寄与する取組みをサポートしてまいります。

《参考資料：企業概要》

企業名	株式会社十文字丸善スープ
代表者	代表取締役社長 十文字 保雄（じゅうもんじ やすお）
役員	取締役副社長 竹本 博則（たけもと ひろのり） ほか
本社所在地	岩手県久慈市
設立	2018年4月
事業内容	天然調味料製造業

企業名	株式会社十文字チキンカンパニー
代表者	代表取締役社長 十文字 保雄（じゅうもんじ やすお）
本社所在地	岩手県二戸市
設立	1975年4月
事業内容	鶏肉製造業

企業名	丸善食品工業株式会社
代表者	代表取締役社長 竹本 博則（たけもと ひろのり）
本社所在地	東京都板橋区
設立	1967年3月
事業内容	天然調味料製造業

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 仙台支店 営業第二班

担当：沓掛（くつかけ） TEL：022-711-7541